

## 民法

今尾真・大木満・黒田美亜紀・伊室亜希子編著

## フレッシュャーズのための民法入門

〔第2版〕

A5判並製292頁／2600円

〔2761-3・20〕

法学部生に限らず、大学に入学して初めて法律を学ぶ学生が、14回の講義で民法をひと通り修得することができる。まさに「フレッシュャーズのための」教科書。民法その他の法改正に完全対応！

近江幸治著

## 民法講義 0

ゼロからの民法入門

A 5 判上製304頁／2800円

〔2618-0・12〕

法律にまったく接していない新入生や他学部学生の初歩的疑問に答える「民法入門」と、一般人にとって最低限必要な「教養としての民法」を説く「民法概論」との2部構成により、初心者で民法の世界へといざなう『民法講義』のファーストステップ。

近江幸治著

## 民法講義 I (民法総則)

〔第7版〕

A5判上製418頁／3300円

〔2716-3・18〕

民法の基礎理論を重視して、バランスのよい解釈論を展開——。「民法総論」の高度な理論を明快に説く。第7版では、錯誤制度の体系的変更、債権消滅時効制度の再構成など、制度の根幹に関わる重要な法改正に対応した。

近江幸治著

## 民法講義 II (物権法)

〔第4版〕

A5判上製322頁／2800円

〔2754-5・20〕

民法の基礎理論を重視して、バランスのよい解釈論を展開。我われは「物」を法律的にどのように「支配」するのかを、体系的に整理し、図説も用いてわかりやすく解説する。民法改正に全面対応。

近江幸治著

## 民法講義 III (担保物権)

〔第3版〕

A5判上製404頁／3300円

〔2755-2・20〕

「担保」とは何か。債権保全制度としての担保法を体系的に整序し、他方で、それらが形成されてきた歴史的・経済的背景を説き明かし、わが国の金融担保制度の全体像と展望を提示する。民法改正に全面対応。

近江幸治著

## 民法講義 IV (債権総論)

〔第4版〕

A 5 判上製352頁／3200円

〔2758-3・20〕

経済社会における「債権」の機能ないし役割を念頭に置きながら、「債権」制度の歴史と判例・学説の理論的展開を詳しく論述。改正民法を体系的に整序し、図説を用いてわかりやすく解説する。民法改正に全面対応した待望の第4版。

近江幸治著

## 民法講義 V (契約法)

〔第4版〕

A 5 判上製384頁／3000円

〔2778-1・22〕

契約法の新しい流れをフォローし、特に消費者契約関係は新たな視点の下に再構成した。民法の基礎理論を重視して、民事紛争の解決を導く解釈論を展開。卓越した民法基本書である。民法改正に全面対応。

近江幸治著

## 民法講義Ⅵ (事務管理・不当利得・不法行為)

(第3版)

A5判上製290頁/3000円

民法の基礎理論を重視して、バランスのよい解釈論を展開——。「事務管理・不当利益・不法行為」の高度な理論を明快に説く体系書。2017年の債権法改正を踏まえて、「給付不当利得」制度の導入と新設規定の意義、不法行為制度の現代的展望などについて、制度的・理論的な体系的整序を試みる。〔2718-7・18〕

近江幸治著

## 民法講義Ⅶ (親族法・相続法)

(第2版)

A5判上製412頁/3200円

「民法講義シリーズ」完結!! 好評を得ている講義シリーズの最終巻となる家族法(親族法・相続法)である。家族法の複雑な仕組みをバランスよく丁寧に解説した分かり易い教科書。また、前著の財産法との共通の規範理念をもって、親族法規範・相続法規範を観察し、解釈に反映している。〔2672-2・15〕

清水元著

## プログレッシブ民法 [物権法]

(第2版)

A5判上製226頁/2200円

豊富な判例の紹介を通じて判例理論の到達点を客観的に明らかにするとともに、通説の徹底的な検証を試みる意欲的な物権法の体系書。初学者の理解の便宜のために図解を多用した懇切丁寧な説明にくわえ、より深く学びたい者のために、解題を付して文献の紹介をした。LS・法学部学生の学修に最適な1冊。〔2583-1・10〕

清水元著

## プログレッシブ民法 [担保物権法]

(第2版)

A5判上製338頁/2900円

豊富な判例の紹介を通じて判例理論の到達点を客観的に明らかにするとともに、学説の最新の動向を視野に入れて、学理的問題の徹底的な検証を試みる意欲的な担保物権法の体系書。より深く学びたい者のために、解題を付して文献の紹介をした。LS・法学部学生の学修に最適な1冊。〔2640-1・13〕

清水元著

## プログレッシブ民法 [債権総論]

A5判上製360頁/2900円

〔2585-5・10〕

理解の便宜のため図解を多用するなど平明な叙述を心がけている。判例の到達点を示し、通説の見解を中心として叙述を心がけ、さらにその妥当性を検証している。

清水元著

## プログレッシブ民法 [債権各論Ⅰ]

A5判上製314頁/2900円

〔2620-3・12〕

プログレッシブシリーズ待望の契約法。通説の見解と判例の現在の到達点を客観的に示す。全体にわたって平明な論述を心がけることで読者の理解を促しつつ、進化し続ける契約法の最前線へと誘う。基本書として最適な一冊。

清水元著

## プログレッシブ民法 [債権各論Ⅱ]

A5判上製388頁/3500円

〔2671-5・14〕

進展の著しい債権法のさらなる進化を試みる意欲的な体系書。通説の見解と判例理論の到達点を客観的に示すだけでなく、一步進めて自説を展開する。法学部生、法科大学院生に最適の一冊。

松原哲著

## 民法ファーストステージ

A5判並製176頁/1800円

〔2753-8・20〕

民法の理解に必要な事項を厳選して論述。理解を助けるための補足や、関連する事項を注によって補いながら、民法の基礎が確実に身につけられるように工夫した入門書。

高橋眞著

入門シリーズ

## 入門 債権総論

A5判並製404頁／3200円

〔2642-5・13〕

難解な債権総論を「抽象的な部分は具体的に、込み入った部分はシンプルに」という方針のもと、口述形式と設例の活用を通じて、通読しやすく工夫した。債権総論の入門書。

松井宏興著

民法講義2

## 物 権 法〔第2版〕

A5判上製308頁／2700円

〔2760-6・20〕

学修する者にとって最も重要で難解な物権変動論に多くのページを割き、単に判例・通説のみならず私見を展開する。簡単な設例を随所に採り入れ、平易に叙述した物権法テキストの決定版。

松井宏興著

民法講義3

## 担保物権法〔第2版〕

A5判上製260頁／2500円

〔2734-7・19〕

本書は、法科大学院にいける1年次の講義だけではなく、学部における講義をも念頭に置いて書かれた担保物権法の教科書である。そのため、随所に設例を設け、具体的な事例をとおして説明を行なうとともに、叙述の順番も担保物権の代表的なものである抵当権から始めるなどの工夫を施している。

松井宏興著

民法講義4

## 債権総論〔第2版〕

A5判上製344頁／3000円

〔2748-4・20〕

学習する者にとって抽象的な理論の多い債権総論の理解の一助として、簡単な設例を随所に採り入れ、平易に叙述する。法科大学院・法学生にとって必読の債権総論テキスト。

田山輝明著

民法要義1

## 民法総則〔第4版追補版〕

A5判並製362頁／3300円

〔2794-1・23〕

新成年後見法の解説を含む民法総則の教科書。

田山輝明著

民法要義2

## 物 権 法

A5判上製270頁／3000円

〔2624-1・12〕

民法総則、担保物権法、債権総論、契約法、事務管理・不当利得・不法行為に続き、本書をもって「民法要義シリーズ」財産法分野堂々完結。最新の判例・学説を盛り込んだ体系書。2004年の不動産登記法の大改正に対応。

田山輝明著

民法要義3

## 担保物権法〔第3版〕

A5判上製252頁／2700円

〔2644-9・13〕

学説・判例は常に展開しているので、その点の補充がなされなければ、教科書として利用することができない。担保物権の領域は、経済、特に金融と密接な関連を有しているので、判例の変化や立法的対応も頻繁である。第3版における改定もこの点を中心に行なった。

田山輝明著

民法要義4

## 債権総論〔第3版〕

A5判上製296頁／2700円

本書第2版の刊行後における考慮すべき最も大きな要素は、判例の蓄積である。特に、利息制限法関連の判例などは、その内容を簡潔に紹介するだけでもかなりの紙幅を要するので、単なる補訂では済まなかった。新しい立法にも簡潔に触れ、重要な参考文献も追加し、多少は読み易くなるようにも配慮した。(はしがきより)〔2603-6・11〕

|  |   |
|--|---|
| 田山輝明著<br>民法要義5<br><b>契 約 法</b>                   | 最新の判例・学説を盛り込んだ体系書の最新版。次第に古典になりつつある、諸先輩の教科書・体系書の良さを生かしつつ、若い学生諸君にとっても読みやすい教科書になるように叙述。  |
| A5判上製388頁／3000円                                  | [2493-9・06]   |
| 田山輝明著<br>民法要義6<br><b>事務管理・不当利得・不法行為</b><br>(第3版) | 不法行為の領域は新しい裁判例が多く、内容も新しいものがかなり見受けられる。改訂に当たり、叙述が詳細になりすぎないように心掛けた。また新しい重要判例は見落とさないように参照してコメントした。そのうえで、新しい不法行為の類型ないし現象(ハラスメント等)も拾った。       |
| A5判上製346頁／3000円                                  | [2689-0・16]   |
| 副田隆重・中舎寛樹・山崎敏彦著<br><b>新・民法学 1 総則</b><br>(第3版補訂)  | それぞれの制度が実際にどのように機能しているかということから説明する。理解を深めるため図表・資料を掲げる。難解な法律用語をわかりやすく説明するなど、初学者に民法総則の基礎知識を身につけて貰うことを狙いとする。法人の改正に対応した第3版。                  |
| A5判並製314頁／2600円                                  | [2580-0・10]   |
| 清水元・山野目章夫・良永和隆著<br><b>新・民法学 2 物権法</b><br>(第4版)   | 平成18年に第3版を出してから4年が経過し、物権法ととりわけ担保物権法の近年の進展は著しいものがあり、非典型担保は新しい形態が生まれ、判例も多数現われているのでホローして、よりアップ・トゥー・デートした最新の物権法テキスト。                        |
| A5判並製352頁／2900円                                  | [2602-9・11]   |
| 織田博子・後藤卷則・執行秀幸・山崎敏彦著<br><b>新・民法学 4 債権各論</b>      | 社会で現実生起する諸問題に対処できるような考え方の基本を示すことに重点をおき、重要な事項については最近の判例・学説の動向を踏まえて通常の教科書よりも詳しく扱っている。大学の講義を受講する人、司法試験受験者、さらに独力で債権各論を勉強する人々にも役立つものを目指している。 |
| A5判並製420頁／3400円                                  | [2425-4・06]   |
| 石口修著<br><b>民法要論 I</b><br>民法総則                    | 民法債権法改正により民法総則分野に相応の整備が施されたことを受けて、改正規定に関して、従来の制度とその趣旨、解釈上の議論を踏まえて平易に解説する。法学部生必読の基本書。  |
| A5判並製502頁／4000円                                  | [2733-0・19]   |
| 石口修著<br><b>民法要論 II [物権法]</b>                     | 資本主義経済における私法の役割として重要な物権的法秩序と取引安全との調整を中心に論じる。抽象概念の開陳・解説を避け、読者に必要不可欠な情報を提示することに配慮した基本書。   |
| A5判上製514頁／4000円                                  | [2702-6・17]   |
| 石口修著<br><b>民法要論 III [担保物権法]</b>                  | 抵当権をめぐる諸問題に対する判例法理の発展による法改正を踏まえ担保物権を解説する。主要な制度には、その冒頭と問題点ごとに簡単な設例を掲げ、読者の自学自習に配慮した基本書。   |
| A5判並製352頁／2900円                                  | [2680-7・16]   |

堀竹学・吉原知志著

## 新民法の分析Ⅲ

債権総則編

A5判並製240頁／2500円

2017年の民法改正の主要領域である債権総則について、学説と判例、改正法検討過程の議論を分析し、解釈上の問題点を批判的に考察する。新民法を「分析」する全6巻、順次刊行予定！

[2743-9・19]

芦野訓和ほか著

## スリーステップ債権各論

A5判並製400頁／3200円

債権各論（契約、事務管理・不当利得・不法行為）について、「構造」「展開」「研究」の三段階で構成し、その原理・原則を理解し、判例や学説での解釈を分かりやすく解説する教科書。

[2780-4・22]

常岡史子・小柳春一郎編

## 基本民事法

A5判並製258頁／2300円

民法（財産法、家族法）を中核に据えつつ、商法、労働法、民事訴訟法、民事執行法、知的財産権法をカバーし、さらに法制史、法哲学の視点からの分析も加えた密度の濃い「民法入門」教科書。基礎的知識の習得とともに、具体事例をもとにした体系的解説により、鳥瞰的視野から民法法をとらえる力を養う。

[2480-7・05]

藤村和夫著

## 契約法講義〔第2版〕

A5判並製276頁／3000円

民法典の規定に即し、伝統的な構成に従った最新の教科書。豊富な裁判例を引用しつつ客観的かつ具体的に展開される叙述は契約法の基礎を的確に理解するのに最適。また、民法における契約法の位置付けや消費者契約法にも言及するほか、近時の法改正にも対応しており、司法試験受験生等にも有用な一冊。

[2677-7・15]

丸山英気・三好登著

## 民法概説〔第6版〕

A5判上製348頁／2800円

平成23年の民法改正における親権停止制度の創設、家事事件手続法の制定など、最新の法改正に対応した。生活の行為規範・裁判規範として定着している民法全般にわたって、できるだけ分かりやすく説明し、初学者の理解を助ける。

[2634-0・13]

三好登・平山也寸志著

## 民法判例入門

A5判並製322頁／2800円

民法を解釈するうえにおいてなぜ判例を研究する必要があるのか、条文との関係、当該判例の位置付け等、民法全般にわたる41の主要テーマごとに具体的な判例を数多くあげてわかりやすく解説した民法をはじめて学ぶ人のための判例入門書。

[2409-2・02]

鎌野邦樹著

## 現代民法学〔第2版〕

46判上製228頁／2200円

民法の総則・物権・債権を日常生活の具体的な場面（不動産の法律関係、売買の法律関係、金融の法律関係）に則して平易に解説した入門書。民法改正、任意後見契約法、NPO法、良質賃貸住宅供給促進特別措置法（定期借家）など最新の立法を織り込み、また、マンション建替えや商工ローン問題にも言及する。

[2470-X・05]

小賀野晶一著

## 基本講義 民法総則・民法概論〔第2版〕

A5判並製336頁／2800円

民法総則における人、物、権利の規律を基礎に、民法概論（財産法）として、人と人の関係（債権法）、人と物との関係（物権法）について概観し、民法の規範定立を試みる。法学部生に最適な教科書。

[2763-7・21]

小賀野晶一・亀井隆太著

## 基本講義 契約・事務管理・不当利得・不法行為

初学者が自分で読み進めることができるよう、分かりやすく説明する。また、問いかけや、事例を挙げてからの説明も多く取り入れ、問題意識をもって具体例に学べるように工夫されている。

A5判並製266頁／2600円

〔2767-5・21〕

小賀野晶一著

## 現代民法講義〔第3版〕

民法典の解説はシンプルに、解釈論の広がりには判例法で追求する、自立型民法教科書を提案。総則、物権、債権の各分野を、民法典・条文の順序に従って解説する。第3版では叙述と構成を改善し、債権総論に解説を加えた

A 5 判並製404頁／3500円

〔2565-7・09〕

小賀野晶一編著

## 判例から学ぶ不法行為法

判例から不法行為法を学ぶことに徹したシンプルな判例集。プロの裁判官の判断過程と結論を判決原文を通して丁寧に学び、判例不法行為法をより深く理解する。民法のほか、国賠法、自賠法、製造物責任法に関する判例も収録。法科大学院学生と民法学習等に等しく有用な新しいタイプの参考書を提案する。

B 5 判並製224頁／2200円

〔2575-6・10〕

藤井俊二著

## クルツ・レーアブーフ民法総則

〔第2版〕

A 5 判上製336頁／3000円

民法学習の難しさは、条文が多く、判例・学説が多岐にわたる点にある。本書は、抽象的な条文を、具体的な日常の取引関係に生じる問題に適用できるように、多くの判例に言及しつつも、学説については、必要最小限度の言及にとどめ、読者が民法解釈の基本を理解できるよう工夫している。

〔2749-1・20〕

小川賢一・落合福司・久々湊晴夫・  
山口康夫・吉川日出男著

## やさしい民法〔第2版〕

具体的な例をもとに民法全体をやさしく解説。法学部以外で民法を学ぶ人を対象とした標準的なテキスト。公務員試験や各種国家試験の勉強などにも最適。今回、成年後見制度の改正や消費者契約法の制定などを機に、内容を一新した。

A 5 判上製304頁／2700円

〔2399-1・01〕

松岡久和著  
法学叢書9

## 物 権 法

狭義の物権法および関連する特別法に規定された制度やルールが、どういう目的で作られ、具体的にどういう形で機能しているかについて、判例・学説の現状を概説し、批判的に考察する。

A5判上製338頁／2800円

〔2700-2・17〕

大場浩之著

## 物 権 法

理論的・実務的に重要な、物権種類論・物権効力論・物権変動論の問題群に分けて議論を展開する。図表を多用し重要判例も網羅。

A5判上製240頁／2300円

〔2798-9・23〕

宇都宮充夫著

## 物 権 法

本書は、民法の現代用語化に的確に対応するため刊行されたものであり、大学での講義用の教科書として、学生諸君が物権法の基本的骨組みを理解し、体系的に掌握できるように工夫した解説書である。従って、ここでは、抽象的な理論に偏ることなく、具体的な事例を通してその解釈と判例を重視している。

その解釈と判例

A 5 判上製202頁／2500円

〔2484-X・06〕

久々湊晴夫・落合福司・甲斐義弘著

## やさしい家族法

A5判上製388頁／2900円

高齢者や障害者の福祉,さらには女性や子供の福祉など,個人個人の幸福に家族法がより積極的な役割を果たすことが求められている。すなわち,「近代市民社会の家族法」から「現代福祉社会の家族法」への転換である。本書は,そのような新しい社会の家族法について,やさしく解説。  
[2427-0・03]

久々湊晴夫・落合福司・笠原克也著

## 判例家族法

A 5 判並製402頁／3200円

法学部および法科大学院の家族法(親族法・相続法)のテキスト。判例をもとに家族法の理論と実務を学ぶ。離婚と財産分与,親子関係の存否,遺産相続など,家族間の紛争を解決するには,民法の体系を理解するとともに,判例を理解することが必要。判例を法的安定性と個別的妥当性の両面から考察する。  
[2581-7・10]

田山輝明著

口述法理学シリーズ

口述契約・事務管理・不当利得〔第2版〕

A 5 判上製606頁／3600円

定評ある『契約法』(民法講義案V)に続いて書かれた,口述シリーズの一冊である。著者が実際に大学で行なった一年間の講義に補筆することで,一層親しみやすく,分かりやすい叙述がなされている。入門書としてはもとより,一通り学習を終えたあとのまとめとしても好適である。  
[2298-7・97]

円谷峻著

不法行為法・事務管理・不当利得〔第3版〕

判例による法形成

A 5 判上製390頁／3300円

基本判決・重要判決の事実関係と判決理由を詳しく紹介し,その意義,評価について読者に判断してもらい,判例法の展開を理解してもらうよう構想。また,効果的な学習を行えるよう,問題を設けている。  
[2693-7・16]

円谷峻著

債権総論〔第2版〕

判例を通じて学ぶ

A 5 判上製448頁／3500円

法科大学院の未修者や専門課程の学部生を対象に,体系的思考性を養ううえで「債権総論」を学ぶことの重要性を踏まえて,債権総論の体系を尊重しつつ,判例の動向,判例法による法形成を中心に論述した教科書。  
[2591-6・10]

藤井俊二・宮崎淳著

レクチャー民法学債権各論

〔第2版〕

A5判並製394頁／3000円

抽象的な民法のなかでも特に学習が困難だといわれる債権各論の分野について,法学部の学生にも理解しやすく解説された教科書。契約序論から不当利得まで全25回をレクチャー。初学者や自習者の理解を助けるよう多数のケースを例示して,具体的に問題を解決しながら議論を進めるよう工夫がなされている。  
[2741-5・19]

原田剛著

債権各論講義

A5判並製496頁／3900円

民法典の解釈を中心とした自主学习に配慮する教科書。民法債権法改正の内容を示し,債権総論,民法総則との関連を示唆すると共に,民法の歴史性,判例法理の積み重ねとその到達点を示す。  
[2772-9・21]

小林忠正著

民法総則

A5判上製216頁／2000円

最新の改正(公益法人三法)を踏まえて,著者がこれまで蓄積された講義ノートを基に丹念に纏めた民法総則の分かり易い教科書。  
[2517-6・07]

高橋眞著

法学叢書6

## 担保物権法〔第2版〕

A5判上製348頁／2800円

判例や法律が大きく変容する現在、担保法内存在する論理を自らのものにしてこそ、新たな問題に立ち向かうことができる。本書は、担保物権法の諸制度の目的や諸概念の内容に立ち返り、「なぜそのように考えるべきか」を確かめながら丁寧に解説する。担保物権法の基本からじっくり考えたい読者に絶好の書。〔2586-2・10〕

高橋眞著

## 判例分析による民法解釈入門

A5判並製258頁／2800円

〔2717-0・18〕

判例の分析を中心として、ゼミナールなどの場で民法の諸制度の知識を使って具体的な事例について判断しようとするときに、どのように民法の解釈と適用をするかを考えるための入門書。

板橋郁夫ほか編

## 民法判例30講

〔民法総則・物権法〕

A5判並製270頁／2700円

〔2374-6・00〕

判例の存在は二重の意味で重要である。1つは、制度的・理論的な意味で果してきている役割であって、2つには、判例が読みものとして一般市民に徐々に親しまれている事実、これが法律学の理解にどれほど役立っているか計り知れないものがある。

板橋郁夫ほか編

## 民法判例30講

〔債権法〕

A5判上製268頁／2700円

〔2455-6・04〕

法学部の演習用教材として基本判例30件を厳選し、これに新進気鋭の研究者による解説が加えられている。類書よりも事実関係を詳細に記し、解説を簡潔にして、レポーターが解説にとらわれずに自由な発想でゼミ発表ができるように工夫している。法科大学院の総合科目の教材としても十分に活用できる。

石崎泰雄・渡辺達徳編

## 新民法講義2

物権・担保物権法

A5判上製508頁／3500円

〔2592-3・10〕

最新の判例・学説をフォローし民法の到達点を示す、漸新・気鋭の執筆陣による「新民法(典)講義」シリーズ(全5巻)の第1弾。多くの具体的な「ケース」(設例)と明解な「図解」の導入による法制度・内容のヴィジュアル化とその理解度の飛躍的向上を実現。「新民法典」時代の到来に備えた新しい教科書。

石崎泰雄・渡辺達徳編

## 新民法講義5

事務管理・不当利得・不法行為法

A5判上製318頁／3200円

〔2601-2・11〕

最新の判例・学説をフォローし民法の到達点を示す。漸新・気鋭の執筆陣による「新民法(典)講義」シリーズ(全5巻)の第2弾。多くの具体的な「ケース」(設例)・明解な「図解」の導入により法制度・内容のヴィジュアル化とその理解度の飛躍的向上を実現。「新民法典」時代の到来に備えた新しい教科書。

山崎敏彦著

## 債権法各論講義

要件事実論的アプローチ

A5判並製644頁／3900円

〔2616-6・13〕

裁判における「民法規範の役割」を民事訴訟制度のあり方に関連させて明解に論じる。重要判例を詳細に紹介し、さらに「要件事実論的アプローチ」で攻撃・防御のモデルを示す。民法(債権法)改正の動きにも対応した債権各論基本書の決定版。

近江幸治・椿寿夫編著

## 強行法・任意法の研究

A5判上製726頁／14000円

〔2721-7・18〕

法律の規定に反する合意(契約)はどこまで許されるのか。民法学の古典的テーマである「強行法・任意法」について、現在の判例・学説の状況を横断的に鳥瞰して理論的に検討した、21名の研究者による26項目にわたる論文集。



磯村保ほか編

## 法律行為法・契約法の課題と展望

法律行為法・契約法の分野において、民法（債権関係）改正法が施行された今日、最先端の課題分析とその発展の方向を展望し、学界・法曹・取引実務に新たな寄与をなす論文集。

A5判上製720頁／15000円

[2783-5・22]

長坂純著

## 契約法規範の変容と責任法理

改正民法において、学説・裁判実務において通用されてきた契約法規範が変容された法理に関して検討し、諸論点に関する議論状況を踏まえて理論的到達点を明らかにする論文集。

A5判上製402頁／8000円

[2785-9・22]

古谷英恵著

## 錯誤とリスク負担

アメリカ契約法上の「錯誤のリスク負担」要件の史的展開を辿り、その理論的根拠と判断基準を探求する。日本における動機錯誤の要件をリスクの観点から考究した研究書。

A5判上製426頁／8500円

[2781-1・22]

谷江陽介著

## 締約強制の理論

契約自由とその限界

締約強制による契約自由に対する制限を根拠づけるものは何か。従来、公共事業を中心として展開してきた締約強制論を放送受信契約、電力自由化という新たな観点から検討する。

A5判上製188頁／3800円

[2685-2・16]

平田厚著

## 建築請負契約の法理

建築請負契約の成立から終了に至るまでの法的諸問題に関し、裁判所をもとに実務上の問題点を考察する。建築請負契約における請負人の責任を一種の専門化責任として捉え、情報提供義務と瑕疵担保責任を軸に論じる意欲作。

A5判上製302頁／5500円

[2650-0・13]

原田剛著

## 売買・請負における履行・追完義務

第一部「ドイツ民法における売主の追完義務の射程」、第二部「瑕疵ある建物に対する不法行為責任」、第三部「請負における履行上の問題」の構成で、債権法改正にも言及する研究書。

A5判上製418頁／8000円

[2707-1・17]

渡邊拓著

## 性質保証責任の研究

ドイツ・フランスにおける性質保証責任を詳細に検討し、日本法への提言を行う。

A5判上製436頁／7800円

[2681-4・15]

藤田寿夫著

香川大学法学会叢書10

## 表示責任と債権法改正

表示責任論研究序説

わが国の民法改正を前提として、最近のフランスとドイツの改正の動向を参照しつつ、自己決定権を中心として契約成立過程における当事者間の表示責任に関する論稿をまとめた研究書。

A5判上製352頁／6000円

[2714-9・18]

深谷格著

## 相殺の構造と機能

A5判上製412頁／7000円

最高裁昭和45年大法廷判決を契機とする判例の集積をもとに、日本法における相殺の構造と機能の関係を論じる。比較法的考察を加えつつ日本法における相殺制度の系譜をたどり、担保的機能がもともと相殺に予定されていたのかを探る渾身の論文集。

[2633-3・13]

深谷格ほか編著

## 生と死の民法学

A5判上製610頁／14000円

民法学の観点から、「生と死をめぐる諸問題」を対象とし、高齢期が長期化していることから「生と死」を時間的な幅のある概念、プロセスとして捉え、高齢者や死に直面した人の私的自治と実定法上の制度との関係や、高齢者・死者の周囲の人の利害調整問題等を総合的に検討するもの。

[2787-3・22]

円谷峻編著

## 民法改正案の検討 第1巻

A5判上製322頁／6000円

今日的社会的変容、諸外国の民法典改正の動向、国連統一売買条約などの影響を受けて議論されている「債権法改正の基本方針」の改正提案について、種々の視点から検討した「民法の改正を考える」研究会の成果。全3巻。

[2632-6・13]

円谷峻編著

## 民法改正案の検討 第2巻

A5判上製396頁／6500円

[2637-1・13]

円谷峻編著

## 民法改正案の検討 第3巻

A5判上製492頁／7300円

[2638-8・13]

前田達明編

## 史料 民法典

A5判上製1934頁／38000円

明治維新以後、現行民法典の立法作業過程で作られたものから、施行後の改正作業で成立した平成15年までの、一世紀以上にわたる民法変遷過程の条文を完全に集大成したもの。さらに同一法系にある中華民国民法、旧満州国民法、韓国民法を取録。

[2440-8・04]

前田達明監修／高橋眞ほか編

## 史料 債権総則

A5判上製802頁／20000円

法典調査会の審議を、現行民法の条文ごとに要約して通読しやすくするとともに、当時参照された外国法文の翻訳、個別法規、大審院判決等の史料を併せて掲載する。旧民法のどの部分を何ゆえに改めるか、民事訴訟法との関係をどう考えるか等、多角的な議論は、民法改正論議のあり方に有益な示唆を与える。

[2588-6・10]

吉田克己編著

## 物権法の現代的課題と改正提案

A5判上製796頁／12000円

所有者不明土地問題、動産・情報を中心とする無体財の重要性、集合的利益などの新たなタイプの財の登場という「財の多様化」に向き合う物権法の再構築を模索し、改正提案を検討する。

[2766-8・21]

新美育文・浦川道太郎・畑中久彌編

## 不法行為法研究 ①

A5判上製246頁／5000円

〔2759-0・20〕

特集 現代社会における共同不法行為論「公害訴訟における共同不法行為論」大塚直／「アスベスト被害と共同不法行為論」山口齊昭／「因果関係論の新たな局面」新美育文。そのほか、論説2本、判例評釈1本収録。

新美育文・浦川道太郎・畑中久彌編

## 不法行為法研究 ②

A5判上製272頁／5400円

〔2773-6・21〕

特集 取引の不法行為、純粹經濟損失のいま「取引の不法行為及び純粹經濟損失をめぐる我が国の議論状況」鈴木清貴／「取引の不法行為と純粹經濟損失の算定基準」白石友行／「風評損害と純粹經濟損失」古谷英恵。そのほか、論説、判例評釈。

新美育文・浦川道太郎・畑中久彌編

## 不法行為法研究 ③

A5判上製260頁／5400円

〔2788-0・22〕

特集 損害賠償論の現代的課題 「連帯責任と分割責任」渡邊知行／「後遺障害を負った被害者の死亡と逸失利益及び介護費用」北河隆之／「損益相殺」仮屋篤子／「保険代位と弁済者代位」古笛恵子／ほか。

石田喜久夫著

民法研究第十一巻

## 現代の契約法〔増補版〕

A5判上製268頁／4300円

〔2390-8・01〕

20年まえ好評を以て迎えられた本書は、現在に至るまで断続的にはあっても、増刷が要望されてきた。そこで、「再交渉義務論」「行為の要素に関する合意」を増補したうえ、変化のはげしい今日において本書のもつ意義について簡潔なコメントを付し、装を新たにして刊行した。

田山輝明著

## 成年後見法制の研究

B5判並製548頁／4000円

〔2368-1・00〕

著者の十数年におわたる成年後見法制の比較法的研究の集大成。下巻に収録しているドイツ・オーストリアに関する研究を基礎にして、日本法の改正へと展開している(上巻)。法律の解説にとどまらず、その成立の背景、立法の精神を学ぶには最適の本である。今後の成年後見法の発展の方向をも示す著作である。

田山輝明著

## 続・成年後見法制の研究

B5判並製378頁／2500円

〔2404-1・02〕

『成年後見法制の研究』の続巻である。前半では、日本の成年後見制度の史的点描を行い、日本固有の後見概念と西洋法の後見概念とが、「後見」という漢字によって表現され、その内容の検討は未だ不十分であるとし、後見制度の普及のためにも検討が必要であるとする。後半では新法の解釈論を展開している。

青木仁美著

## オーストリアの成年後見法制

A 5 判上製416頁／7600円

〔2665-4・15〕

オーストリアにおける成年後見法制を明らかにし、日本法と比較することによって、日本における成年後見制度が今後発展すべき方向を提示する。

前田達明著

成文堂選書1

## 愛と家庭と

—不貞行為に基づく損害賠償請求—

46判上製336頁／3000円

〔2030-5・85〕

夫が、妻が、他の異性に愛を求めたとき、法は如何にこれを受け止めるべきか。人間の本性に根差す愛情の世界と現代社会の家族制度との確執に、該博な比較法研究を基礎として、民法学の世界から鋭い分析を行なう画期的野心作。

前田達明著

民法研究第二卷

## 民法学の展開

A5判上製368頁／6000円

法解釈方法論と主張・立証責任の分配（方法篇）、意思原理の淵源、家族法の歴史と英美法私法史の概要（歴史篇）、医療契約と振込契約、違法性と過失の重要論点、許害行為取消権（解釈篇）についての polemick で且つ透徹した論理を展開する前田民法学の集大成たる珠玉の論文集

[2629-6・12]

前田達明著

民法学研究第3巻

## 続・民法学の展開

A5判上製374頁／6000円

価値判断の基準とその論理に合った言語表現が求められる法解釈方法論、主張・立証責任に基づく証明負担を論ずる証明責任論、母法たるドイツ民法史論の3部から成る前田民法学の集大成。

[2705-7・17]

小賀野晶一著

成文堂選書55

## 民法と成年後見法

人間の尊厳を求めて

46判上製284頁／2800円

成年後見法を民法現代化のなかで捉え、身上監護制度を社会福祉や医療と関連する民法制度として位置づける。取引の動的安全と合理性を徹底して追求する民法論から、人間の尊厳を実現する民法論への展開を説き、地域社会における民法と成年後見法のあり方を平易に語る民法啓蒙書

[2619-7・12]

一木孝之著

## 委任契約の研究

A5判上製282頁／5500円

民法上の委任が事務処理契約の原型・役務提供関係の受け皿として位置づけられるゆえんを、性質論の観点から考察し、個別規定の解釈にとって重要となり得る祝座の獲得を目指す。

[2762-0・21]

柳勝司著

名城大学法学会選書10

## 委任による代理

A5判上製298頁／4700円

委任による代理という私見を、わが国の民法に適用できるかという視点から理論的検討を行い、実際の取引における個々の問題に対して妥当な解決を得ることができるかを検証する。理論と実務の架橋を目指す。

[2622-7・12]

長谷川貞之著

## 委任の任意解除権

A5判上製330頁／6000円

民法制定から近時の債権法改正までをフォローし、任意解除権の規範的性質、適用範囲、解除できない委任、損害賠償の要否の問題を明らかにし、解除権行使のための判断枠組みを提示する。

[2790-3・23]

石口修著

久留米大学法政叢書15

## 所有権留保の現代的課題

A5判上製390頁／5800円

第1部で所有権留保の起源について古代ローマ法までさかのぼってその淵源を探り、第2部で単純な所有権留保に関する当事者間の諸問題を検討する。第3部ではドイツで商慣習化している延長された所有権留保に関する諸問題を扱う。

[2488-2・06]

石口修著

## 所有権留保の研究

A5判上製346頁／5500円

非典型担保として位置づけられている所有権留保と譲渡担保を比較・検討し、わが国の学界、実務界に対し、その本質ないし各種の類型に関する正確な理解を喚起することを旨とする研究書。

[2732-3・19]

多田利隆著

## 対抗の法理と信頼保護の法理

A 5 判上製298頁／5500円

〔2727-9・19〕

不動産の物権変動について登記対抗要件主義を定めた民法177条の適用範囲をめぐる解釈論において、いわゆる対抗関係構成と信頼保護構成という異なる立場の間の架橋を試みる論文集。

藤井俊二著

借地借家法研究 2

## 借地権・借家権の存続保護

A 5 判上製312頁／6000円

規制緩和の潮流の中で、借地権・借家権の存続保護は動揺している。本書では、借地権の存続保護の姿容と定期借地権の比較法的検討、定期借地権規定の解釈と実際の機能を論じ、近時のドイツ住居賃貸借法における改正動向を紹介し、定期借家制度を批判的に検討して、借家権の存続保護の必要性を論じる。〔2498-X・06〕

平田厚著

## 借地借家法の立法研究

A 5判上製278頁／5000円

〔2664-7・14〕

わが国における不動産活用のあり方にとって非常に重大な影響を及ぼしている借地法・借家法の制定前から今日までの借地および借家に関する法制度の立法事実を検証し、借地借家法の現代的な意義とあり方を検討する研究書。

太田昌志著

## 敷金契約の法理

A 5判上製384頁／7000円

〔2775-0・21〕

ドイツの借家法制の観点から日本の借地借家法制を考察し、とくに、ドイツの敷金制度を細かく分析することで、日本の敷金の分別管理についての議論を展開する。

小柳春一郎著

## 震災と借地借家

都市災害における賃借人の地位

A 5判上製430頁／7000円

阪神・淡路大震災では罹災法（昭和21年法律第13号）が適用され、罹災借家人に優先借地権、優先借家権等を与え、議論を呼んだ。本書は、罹災法が戦災処理のため成立し、現在では問題が多いことを立法過程・裁判例・学説の徹底的検討を基礎に指摘する。平成15年度日本不動産学会著作賞受賞。〔2415-7・03〕

小柳春一郎著

## 仏日不動産法の現代的展開

—所有者不明・無主不動産・土地所有権放棄・相続登記未了—

A 5判上製386頁／6500円

〔2768-2・21〕

近時関心が及ぶようになってきた所有者不明、相続登記未了、所有権放棄、空き家、土地境界不明の問題に関して、立法、判例に動きのあるフランス法及び日本法の現代的展開に関する研究書。

佐野彰著

## イギリス離路法理の変革

—離路法理の契約法への同化—

A 5判上製236頁／5000円

離路法理は、契約法の準則と異なる独自の法準則であった、實際上妥当性を欠くといわれて久しい。ようやく20世紀末、同法理は契約法に統合同化され、消滅することとなる。この“統合同化”が何故、どのようにしてなされるにいたったかは、離路法理百年の軌跡をたどることによって明らかにされる。〔2430-0・03〕

浦川道太郎著

## ドイツにおける危険責任

A 5判上製436頁／8400円

〔2771-2・21〕

産業革命以降の危険技術等による事故被害の補償に資する無過失損害賠償責任（危険責任）に関する論文に新たな知見を加え、技術社会の発展の中での危険責任の意義と限界を探究する。

藤岡康宏著

## 損害賠償法の構造

A5判上製812頁／12000円

《契約の時代》において不法行為が担うべき役割は何か。本書は、不法行為の基本構想、損害賠償と差止、補償制度など不法行為の全体像を論じ、全法秩序を踏まえた法発展の必要性を構想する。ロースクールの登場により何がどう変わるのか。本書は変革の時代に備える不法行為研究の集大成である。〔2403-3・02〕

都筑満雄著

## 複合取引の法的構造

A5判上製360頁／6000円

複数の契約より成る複雑で高度な取引、すなわち複合取引の常態化、契約法上の諸原則を動揺させずにはおかない。本書は、この優れて現代的な取引事象が提起する法的問題と諸原則に及ぼす修正とを明らかにし、この複合取引の法的構造の解明を試みる、今後の同取引の法的考察の基盤となるものである。〔2527-5・07〕

菅富美枝著

## 新消費者法研究

脆弱な消費者を包摂する法制度と執行体制

A5判上製236頁／4000円

判断能力が不十分になっても社会生活をあきらめさせられることなく、消費社会においてなおも脆弱な消費者がアクティブな法主体であり続けるための法制度・社会制度を探求する研究書。〔2712-5・18〕

白井豊著

## 戦後ドイツの表見代理法理

A5判上製248頁／3700円

本書は、「本人の帰責性」の具体的内容・理解に関する混迷から脱するため、無秩序な利益・価値衡量的解釈に荷担した古典的権利外観理論の有効性を含めて、代理法に特化した法的構成、とくに帰責根拠の理論的・体系的解明に挑んできた戦後ドイツの表見代理論を紹介・分析した、研究のプロローグである。〔2420-3・03〕

小林忠正著

## 日本家族法史論

A5判上製234頁／5000円

民法とくに家族法の歴史的な観察を試みることを主体としている。歴史的に見る意味は、過去から現在への変遷を知り、将来に変化して行く展開を、正確に理解する点にある。本書はひとつの条文が、いかなる社会的・歴史的事実のうちにうらずけられて成立し、今日の社会に妥当しているかを追究している。〔2441-6・03〕

円谷峻編著

## 社会の変容と民法典

A5判上製480頁／5000円

27名の民法専門家が、それぞれ関心のある領域における民法典の改正について自由に論じた成果を公表するもの。民法典の全般にわたる領域に關係する研究論文が掲載されており、民法改正の論議に無視できない影響を及ぼすもの。〔2582-4・10〕

円谷峻・三林宏編著

## 新たな法規律と金融取引約款

A5判上製288頁／4500円

銀行取引約定書（ひな型）や保証契約全国信用保証協会統一「約定書例」という「金融取引約款」を主たる素材として、民法（債権法）改正の動向をにらみながら検討する研究の成果。〔2676-0・15〕

高橋弘・後藤紀一・辻秀典・田辺誠編  
広島大学公開講座

## 現代民事法改革の動向II

46判並製298頁／2500円

バブル経済崩壊に対応する民事法関係の新動向を分り易く解説。消費者契約法、担保・根保証制度、建物区分所有法、債権譲渡制度、生殖補助医療と親子関係、法人制度、雇用紛争、民事裁判・執行制度、破産法など、市民生活に深くかかわる法律問題を扱う。2001年の『現代民事法改革の動向』の続編。〔2481-5・05〕

鳥谷部茂・片木晴彦・三井正信・田邊誠編  
広島大学公開講座

## 現代民事法改革の動向III

46判並製390頁／3000円

平成20年度に広島大学大学院が主催した公開講座を基に整理し直したものの。バブル経済における企業の適正な組織・取引活動、高度情報化社会への対応、市民の財産・雇用の保護、国際的動向への対応など、最新のトピックを一般市民および学生に提供しようというもの。

[2567-1・09]

鳥谷部茂・片木晴彦・三井正信・田邊誠編著  
広島大学公開講座

## 現代民事法改革の動向IV

46判並製362頁／2800円

大震災への対応、民法・雇用関係法・消費者被害救済等の法改正、敷金等や不当利得返還請求、企業の適正な組織・取引活動・監督等、新たな法改正ないし判例動向等を中心にわかりやすく解説する。広島大学公開講座第4弾。

[2649-4・13]

高橋眞著

## 民事判例の観察と分析

A5判上製330頁／6000円

「担保責任と損害賠償」「弁済者代位と求償権」「相殺の担保的機能」という三つの判例研究を通じて、判例資料に「問い」を設定して「分析」を行い、その意義の「観察」について考える。

[2731-6・19]

高橋眞著

## 抵当法改正と担保の法理

A5判上製248頁／4500円

2003年の担保法改正に際し、抵当法の本質が活発に議論された。本書は、賃料債権に対する物上代位の構造、物上代位による差押えの意義、抵当権に基づく妨害排除の根拠について深く分析し、「価値債権」を基礎とする抵当権の概念を明らかにする。また、代位弁済者の求償権と原債権の関係に検討を加える。

[2531-2・08]

宇都宮充夫著

## 不動産権利をめぐる判例研究

A5判上製216頁／4500円

賃貸借、共有、留置権、所有権、区分所有権等の不動産権利をめぐる諸問題に関する平成の最高裁判例を対象に、その問題点と最高裁の判断の当否を詳細に検討する判例研究。

[2656-2・14]

石崎泰雄著

## 契約不履行の基本構造

民法典の制定とその改正への道

A5判上製300頁／5800円

今般の債権法改正の根幹部分ともいえる契約（債務）不履行の解明を試みる。民法典が形成される過程に焦点を当て、立法の意図を探る。また、今日の比較法的到達点たる統一法秩序を中心とした比較法的考察により世界的標準化を探究し、現行民法典の解釈論に加え、民法典の向かうべき方向性を示唆する。

[2564-0・09]

不破茂著

愛媛大学法学会叢書13

## 不法行為準拠法と実質法の役割

A5判上製322頁／5300円

本書では、米国抵触法理論の核心である利益分析論の本質を解明し、英国法及び大陸法学説との相違を確認しつつ、意外にも相当の親近性を有する側面のあることが了解される。米国抵触法と大陸法とのこの交錯の裡にわが国国際私法を明確に位置づけ、準拠法における実質法の役割に関する新たな提言を行う。

[2555-8・09]

西村隆誉志著

愛媛大学法学会叢書16

## 不法行為責任概念の形成

注人文主義と法学の近代

A5判上製344頁／5400円

ヨーロッパの法学が近代化を果たしていく中で人の命の価値を金銭的に算出して損害を賠償するという不法行為責任の考え方はいかなる経緯を経て生じたか。16世紀フランス人文主義法学のキュジャスから17世紀ドマ、18世紀ポティエ、19世紀フランス民法典に至る私法学説に沿ってそれを追究した力作。

[0546-8・13]

高橋眞・島川勝編著

## 市場社会の変容と金融・財産法

A 5 判上製302頁／5000円

主な目次 譲渡担保権者の物的納税責任「相殺の担保的機能」について ロessler草案における解除構想 証券取引規制と公序、市場におけるフェアネス 物権法の制定と中国憲法 「商業化」と法をめぐる、19世紀中葉ドイツにおける考察の一例を紹介する 抵当権および債権譲渡に関する法改正の検証ほか [2562-6・09]

小山泰史著

## 流動財産担保論

A 5 判上製356頁／5500円

債務者の在庫商品やそれらの転売から生じる売掛債権等、キャッシュフローを担保の目的とする動産・債権担保金融について、英・米・カナダの浮動担保を参考にして解釈論を展開する。特に、債務者に商品を提供する売主の保護と、債務者に認められる『通常の営業の範囲内の処分』の意義について、詳細に検討する。[2568-8・09]

大場浩之著

## 不動産公示制度論

A 5 判上製506頁／8000円

本書は、ドイツ法を比較対象としながら、不動産公示制度の歴史的生成過程ならびにドイツ法上の土地債務制度および仮登記制度を分析基軸として設定し、民法と登記法の理論的関係について分析を加えることを通じて、わが国における不動産物権変動論の再構成を試みることを目的とするものである。[2578-7・10]

大場浩之著

## 物権変動の法的構造

A 5判上製352頁／7000円

[2742-2・19]

ドイツ法を比較対象として、物権行為と ius ad rem の関係性を柱に実体法と手続法が複雑に交錯する物権変動の法的構造に検討を加え、日本の物権変動論に新たな知見を提示する研究書。

大場浩之著

## 物権債権峻別論批判

A 5判上製140頁／3200円

[2793-4・23]

ドイツ法における物権債権峻別論の分析を通じて、日本における物権債権峻別論を批判的に検討する。『不動産公示制度論』『物権変動の法的構造』に続く研究の集大成。

片桐善衛著

名城大学法学会選書12

## 区分所有法の探究

A 5判上製208頁／3300円

[2683-8・16]

マンションをめぐる人々の意識や生活、法律関係がめまぐるしく変化する中で、ペット問題、専用使用権、マンションの建替え問題等に焦点をあてて論ずる。

伊藤栄寿著

## 所有法と団体法の交錯

区分所有者に対する団体的拘束の根拠と限界

A 5 判上製292頁／5000円

マンションに関する諸問題の中でも、管理、変更、復旧、競売請求、建替えなど、多数決決議が認められる制度を検討。多数決に反対する少数者が、多数者に従わなければならない理論的根拠を明確化する。マンション法を民法理論の中に位置づけた上で、実務上の問題に対するアプローチを試みる。[2597-8・11]

文元春編著

## 中国不法行為法の研究

公平責任と補充責任を中心に

A 5判上製268頁／5200円

[3388-1・19]

学説と裁判例に関する総合的研究を通じて、中国における公平責任と補充責任の存在基盤・機能について日本法と比較して特徴を明らかにし、中国における法の在り方を検討する研究書。



田山輝明著  
土地法研究 第3巻

## 土地法の歴史と課題

A5判上製398頁／7600円

[2679-1・15]

竹内康博著  
愛媛大学法学会叢書14

## 墓地法の研究

その軌跡と成果

A5判上製282頁／5000円

「入会権の墓地利用権」「借地関係の近代化と現代化課題」「土地の継続の利用権をめぐる現代的諸問題」「不動産に関する判例評釈」「ドイツ土地法上の諸問題」などを収録する。

著者の長年にわたる墓地法研究の集大成。明治期以降の墓地法の変遷を詳細に究明した上で、墓地使用権を4つに分類し、それぞれの法的性格を明らかにした。さらに、無縁墳墓の改装方法についても、墓石等の所有権問題を解決する独自の法理論を提起している。これ以外にも、8本の論文を収録している。 [3298-3・12]

鈴木賢・崔光日・宇田川幸則・朱暉・坂口一成訳

## 中国物権法

条文と解説

A5判並製84頁／800円

世界中が注目する中で採択された中国物権法の全訳書。日中の第一線の研究者が結集して仕上げた完成度の高い邦訳を他に先駆け出版。ポイントをおさえたい解説も収録し、同法の立体的な理解を促進。中国法に関心のある研究者だけではなく、中国でビジネスを展開する(予定の)企業人にとっても必携の1冊。 [2519-0・07]

近江幸治・道垣内弘人編著

## 日中韓における抵当権の現在

A5判上製280頁／5000円

[2678-4・15]

野村好弘・小賀野晶一要訳監修  
アジア法叢書20

## 中国の土地法

A5判上製234頁／4200円

王家福・黃明川著『土地法の理論と実践』(人民日報出版社、一九九一年一月)を日本語で要訳的に翻訳紹介した。王氏は、中国社会科学院法学研究所前所長で、中国法学界をリードしてきた第一人者。中国土地法の基本的な仕組みを明快に説明する労作である。 [3126-9・96]

ニコラス・J・マックブライド著  
菅富美枝訳

## イギリス契約法の基本思想

A5判並製160頁／2200円

[2757-6・20]

「市場の機能を支える」という市場社会の基盤としての契約法の役割を再認識する機会を提供するため、イギリス契約法に触れたことのない学生を対象に平易な言葉遣いで翻訳・解説する。

ディーター・ライポルト著／円谷峻訳

## ドイツ民法総論〔第2版〕

設例・設問を通じて学ぶ

A5判上製618頁／6000円

[2646-3・15]

EU組織の変更、欧州連合指令の国内法化、債務法の現代化を目的とした新民法典に基づく判例法の形成など、ドイツ民法の顕著な変化を詳述する。最新の情報を理解するための最適の書。

ヴォルフ＝ヴェレンホーフ著／大場浩之・水津太郎・鳥山泰志・根本尚徳訳

## ドイツ物権法

A5判上製738頁／9800円

[2696-8・16]

物権法の全法秩序における位置付け・機能を明らかにし、ヨーロッパ法との関係を意識して叙述する。ドイツ法の最新の情報を理解するための最適書。

ヴァイヤース＝ヴァント著 藤岡康宏  
監訳 藤原正則，金岡京子共訳

## 保 険 契 約 法

A5判上製380頁／5500円

齋藤隆夫著

## 集中講義 不動産登記法

〔第3版補訂版〕

A5判上製396頁／3500円

齋藤隆夫著

## 不動産登記の仕組みと使い方

A 5判並製366頁／3200円

社会生活の基本法としての保険契約法の根本要素の理解，実務への応用力の習得を目指し，ドイツ保険契約法の大家により執筆された体系書が，民法学者の監訳によりついに翻訳実現。債務法との関連性を踏まえたドイツ保険契約法の全体像を理解するための最良の書であり，現代化への貴重なメッセージを展開。〔2508-4・07〕

電子申請を手続の基本に据えて仕組みが整えられた不動産登記法について，基本法令の改正を踏まえて申請情報の表面が変更された部分を改訂した補訂版。巻末に多くの登記記載例を掲載。

〔2740-8・19〕

不動産登記法をはじめとする抽象的な法令の規定を，具体的に書式へと移す作業を丁寧に解説する。初学者の疑問を解決すると共に，実務のニーズにも対応した不動産登記入門書の決定版。

〔2621-0・12〕

# 民事訴訟法

|                   |  |
|-------------------|--|
| 三谷忠之著             | 万全な判例の引用で、実際の事件を具体的にイメージしながら民事訴訟法を詳しく学ぶことができる充実の基本書。著者のホームページとリンクし、この一冊で今後の法令改廃・新判例情報に対応できる「未来志向型」テキスト。新司法試験への対応として、事例問題を挿入し、判例も追加補充した。      |
| 民事訴訟法講義〔第3版〕      | [2606-7・11]  |
| A5判上製468頁／3300円   |  |
| 三谷忠之著             | 豊富な判例の引用により、実際の事件を具体的にイメージしながら民事執行法・民事保全法を学ぶことができる。著者のホームページとリンクし、この一冊で今後の法令改廃・新判例情報に対応できる「未来志向型」テキスト。民事執行法・民事保全法の深い理解へと読者を誘う。               |
| 民事執行法講義〔第2版〕      | [2615-9・11]  |
| A5判上製460頁／3300円   |  |
| 三谷忠之著             | 多くの判例を利用し、手続の流れに沿って書かれた判例による破産法・民事再生法の概説書である。単なる入門書ではなく、これから更にもう1歩進んで倒産法を学ぼうとする人のために丹念に判例がフォローされており、講義用教材だけではなく司法試験などの資格試験にも大いに役立つ内容となっている。  |
| 民事倒産法講義           | [2507-2・06]  |
| A5判上製548頁／3500円   |  |
| 石渡 哲著             | 章立てに工夫を施し、解説の中に重要な判例や事例をより多く取り入れることで民事訴訟手続全体の流れを把握できるように説明する。読者に「解りやすい民事訴訟法」を心がけた教科書。法学部生に最適。  |
| 民事訴訟法講義           | [2694-4・16]  |
| A5判並製532頁／3500円   |  |
| 生熊長幸著             | 民法と民事執行法とに豊富な教育経験・優れた研究業績を有する著者が、法科大学院学生および法学部学生を主たる対象に、分かりやすく民事執行法・民事保全法を読み解く。類書に見られない豊富な図表・設例・書式により理解度数段アップ。民法との境界部分の懇切な説明により民法の理解も一段と深まる。 |
| わかりやすい民事執行法・民事保全法 | [2626-5・12]  |
| 〔第2版〕             |  |
| A5判上製390頁／3300円   |  |
| 松村和徳著             | 本書は、初歩的レベルから実務レベルまで対応できる民事執行・保全法についての概説書である。法科大学院での授業を基に執筆され、最新の議論を意識した基本事項の解説と演習問題がセットになった新しい形のテキストで、平成19年法改正と平成18年最高裁判例まで対応した最新のテキストでもある。  |
| 民事執行・保全法概論        | [2641-8・13]  |
| 〔第2版〕             |  |
| A5判並製288頁／2500円   |  |
| 松村和徳編著            | 主に最高裁判例を題材とした演習問題を通説・判例の立場から解説しつつ、その問題点を指摘し、的確な論点把握ができるように解説する。民事訴訟法の演習教材として最適の書。  |
| 民事訴訟法演習教材         | [2625-8・12]  |
| A5判並製292頁／2700円   |  |

内田義厚著

## 民事執行・保全15講

A5並製280頁／3000円

[2697-5・16]

民事執行法及び民事保全法の制度体系を実務的重要性の観点から再編成し、理論と実務の相互関連を意識しつつ明確に説明する。実務の観点から制度と理論を捉え直す実践的概説書。

木川統一郎・清水宏・吉田元子著

## 民事訴訟法重要問題講義 [上巻]

(第2版)

A5判並製380頁／3800円

[2729-3・19]

平成8年改正,新しい裁判例や理論的展開をフォローし,如何にして条文を最大限機能させることができる解釈を行うかを心掛け,口語体で解説。司法試験生必読の書。1992年から1993年にかけて刊行された上中下巻を大幅に改訂し,上下2冊に再編成したもの。

木川統一郎・清水宏・吉田元子著

## 民事訴訟法重要問題講義 [下巻]

(第2版)

A5判並製386頁／3800円

[2730-9・19]

吉野正三郎著

## 集中講義 民事訴訟法 [第4版]

A5判上製382頁／3500円

[2516-9・07]

平成10年1月1日より新民事訴訟法が施行され,その後,平成16年に「民事訴訟法等の一部を改正する法律」が施行された。これらの改正を踏まえて,初版以来多くのファンの期待に応じてきた本書を,豊富な実務経験を基に全面的に改訂した,著者渾身の決定版。

吉野正三郎著

## ドイツ倒産法入門

A5判並製204頁／2500円

[2521-3・07]

かつて,わが国の旧破産法と旧和議法に大きな影響を与えてきたドイツでは,約20年間にわたる破産法,和議法の改正論議を経て,1999年1月1日から「倒産法」が施行された。本書は,ドイツ倒産法の全体をわかりやすく鳥瞰することが出来る入門書で,ドイツ倒産法を学ぶ学生にとって必携の書である。

遠藤賢治著

## 民事訴訟にみる手続保障

A5判上製256頁／3000円

[2442-4・04]

永年の民事裁判実務の経験をもとに民事訴訟理論と実務の架橋を試みた研究書。訴状答弁書の機能といった実践的な問題から証明責任,上告審の審理,外国判決の承認執行等の理論的な課題,さらには法科大学院で扱う要件事実論に至るまで幅広く分析した研究者,実務家,法科大学生等の必読書。

中村英郎著

民事訴訟論集第六巻

## 民事訴訟における二つの型

A5判上製282頁／3800円

[2558-9・09]

ローマ法を源とする規範出発型,ゲルマン法を源とする事実出発型という視点から民事訴訟制度を捉え,戦後日本の民事訴訟に与えたアメリカ法の影響,民事訴訟制度の目的,裁判所の役割,民事訴訟制度の当事者,共有関係事件と共同訴訟などの問題を分析する。

中村英郎著

民事訴訟論集第七巻

## 民事訴訟法研究とその周辺

A5判上製250頁／3800円

[2598-5・11]

本書は,著者が,これまでに「民事訴訟論集」全6巻として公刊してきた中で,民事訴訟の法律論には直接関係のない,法学を研究する中で,その折々に書かれたエッセイ「研究者としての出発,後輩に,父を語る,定年を迎えて,ギリシャ法との出会い,中国との出会いなど」を収録。

松村和徳著

## 手続集中論

A5判上製360頁／7000円

(2739-2・19)

「適正・迅速かつ公正な裁判」の実現はなぜ「手続集中」に委ねられたのか。その根源に遡り、現在に至る変遷を明らかにする。わが国における手続集中論の展望を試みる研究書。

勅使川原和彦著

## 民事訴訟法理論と「時間」的価値

A 5 判上製352頁／6000円

民事訴訟の理念として説かれる「適正・公平・迅速」のうち、「迅速」を「適切な時間」と置き換え、その実現を主題として、実体法上・手続法上の時間的価値の視点から、ドイツ民法改正やEU司法制度改革にも示唆を得ながら、民事訴訟法上の諸問題の理論的考察を試みた、類例をみない論文集である。(2559-6・09)

安達栄司著

## 民事手続法の革新と国際化

A 5 判上製260頁／4500円

民事手続法の一連の法改正と国際化に関する論文集である。第一部は、準備手続、証拠秘密手続、選定当事者の個別論点、民事保全法・倒産法改正に関する比較法研究を、第二部は、わが国の国際民法判例の展開と展望、不法行為管轄論、国際的差止に対するEC法の対応、新仲裁法に関する諸論を扱う。(2487-4・06)

久末弥生著

## 現代型訴訟の諸相

A 5 判上製172頁／3500円

20世紀後半に急増した公害訴訟や環境訴訟、消費者訴訟、医療訴訟等のいわゆる現代型訴訟は、民事訴訟と多様な訴訟類型の新たな関係を示している。本書は、民事訴訟と行政訴訟の境界を扱う論文を中心にまとめられている。(2669-2・14)

橋本昇二著

## 要件事実の基本問題

A5判上製376頁／7000円

(2711-8・18)

民事訴訟における要件事実について、その言葉の多義性を整理し、契約の拘束力の根拠、物権的請求権における返還請求権、因果関係といった具体的問題を分析・検討する。

字都宮遼平著

## 訴訟物と損害賠償請求訴訟

A5判上製410頁／8000円

(2796-5・23)

不法行為による損害賠償訴訟の訴訟物とドイツのクリストフ・アルトハンマー教授によって提唱された新たな訴訟物学説に関する考察を中心とした、訴訟物理論に関する論文集。

中村達也著

## 仲裁法の論点

A5判上製522頁／7000円

(2703-3・17)

仲裁合意から仲裁人の選任・忌避、仲裁判断の取消し・執行までの手続に沿って各論文を配列し、仲裁実務に關与することを通じて疑問を抱いた問題点を取り上げ、検討を試みる論文集。

中村達也著

## 仲裁法概説

A5判並製474頁／3300円

(2784-2・22)

仲裁法に関する先行研究、判例を整理し、仲裁法に関する論点、とりわけ実務上重要な論点をできる限り網羅して解説する。初学者のみならず、実務家のニーズにも応える最適な概説書。